

2015 年 4 月 8 日

大阪市教育局 大森不二雄教育委員長 様
山本晋次教育長 様

高尾元久教育委員が 中学校教科書採択に関与しないことを求める要求書

子どもたちに渡すな！あぶない教科書 大阪の会

4 月から中学校教科書採択が始まっています。4 月 6 日には文科省から教科書検定結果が発表され、中学校社会科(歴史・公民)で育鵬社教科書が検定合格しました。貴教育委員会においても教科書採択が本格的に進められていることと思います。

しかし、教科書採択を最終的に行う貴教育委員会の中に、「採択の公正性」を損なう教育委員がいることが判明しました。

高尾元久教委育委員は①教科書出版を行う育鵬社と同じフジサンケイグループの一員であり、②育鵬社教科書の共同事業者である日本教育再生機構の機関誌「教育再生」に少なくとも 4 回、投稿・インタビュー記事を掲載しています。これらの事実は、高尾教育委員が、育鵬社の利害関係者にあたることを示しています。(別紙参照)

採択候補教科書の利害関係者が、採択に関与することは許されません。教育委員会が選定委員や調査委員を任命するとき、「採択に直接の利害関係を有する者は、(選定)委員会の委員になることができない。」(大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則)と規定されています。選定委員や調査委員は「利害関係を有していない」という誓約書の提出を義務づけられています。ましてや、教科書採択の「権限と責任」をもつ教育委員自らが「利害関係者」であることなどあってはなりません。

したがって、高尾教育委員が、歴史・公民分野の教科書採択に関われば、今回の採択の「公正性」は損なわれることとなります。私たちは、大阪で「公正な教科書採択」を保障するために、以下のことを要求すると共に貴教育委員会の見解を明らかにするよう求めます。

要求内容

**高尾教育委員は、2016年度使用中学校教科書採択方針の審議・決定、
歴史・公民分野の教科書採択の審議・採決に一切関与しないこと。**